

ヘルメットを着用して自転車通学をしてくれています

4月1日から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務化されました。当校でも、3人の生徒の皆さんがヘルメットを着用して通学してくれています。

今回は、建築・電気科3年の高橋颯太さんと小川瑞稀さんにお話を聞きました。

Q1：ヘルメットの着用を始めようとしたきっかけは？

A1：4月に受講した江津警察署の講話の際に、ヘルメットを着用すると宣言したことと、部活動の顧問の先生がヘルメットを着用していたためです。

Q2：新しいヘルメットを買うのではなく、中学校で使用していたヘルメットをかぶるのもとても素晴らしいと思いますが、最初は恥ずかしかった？

A2：とても恥ずかしかったです。今は、これが当たり前になっています。実は、今も、通学中に人とすれ違う時に恥ずかしいと思うことがありますが、それよりもルールを守ることが大切だと思いかぶっています。

「率先してルールを守ろうとする姿」や「ものを大切にしようとする姿」、本当に本当に素敵です。4人目のヘルメット着用者が現れてくれることを待っています。



※終礼と終礼後の片付けの間に取材をさせてもらったため、自転車に鞆がのっていません。